

コミュニティー 壬生野

第7号

H. 16. 10. 8 発行

カウントダウン

11月1日
伊賀市誕生

新市誕生まであと 23 日（十月八日現在）

十一月一日にいよいよ伊賀市が誕生します。新市誕生により伊賀町という名称がなくなり、伊賀市が私たちにとっての公域となりました。

公域のなかにあって、より良い地域をつくるためには、これまで以上に「壬生野」の地域をアピールしていかなければなりません。

そこに住む住民が想いを持つて地域での活動に取り組み、その想いを高めたとき、より魅力のある地域ができるでしょう。又、私たちの声を新しい市に届けるため、行政に向けて積極的に地域の取り組みを発信していく必要があります。

タウンミーティングの開催 10/22

今年の一月二十三日に、壬生野地域まちづくり協議会が設立され、六つの分野において「まちづくり計画」の検討を進めてきました。そして五月には「まちづくり計画」に住民の声を活かすとアンケート調査を実施し、それらの意見を踏まえて、このたび「壬生野地域まちづくり計画（案）」を策定しました。

（場所）希望ヶ丘生きがいセンター
（希望ヶ丘保育園となり）
（日時）十月二十二日（金）
夜七時三十分から

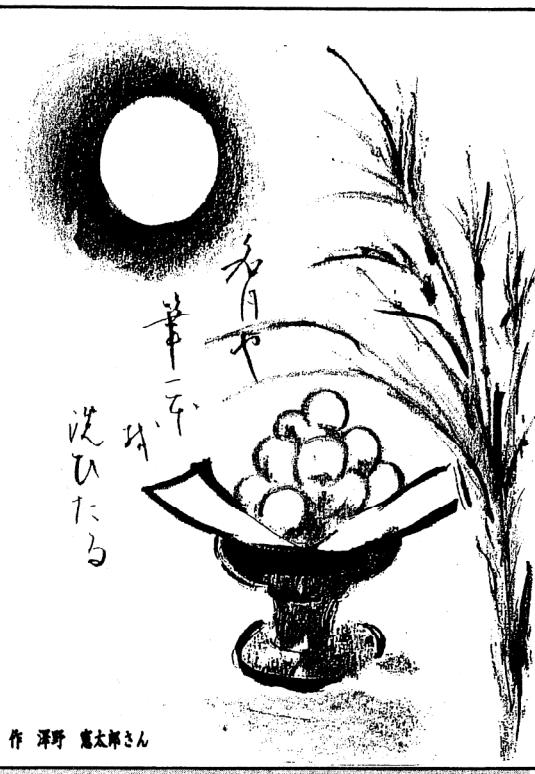
平成十六年六月二十三日以来、伊賀市自治基本条例の策定にあたる二十一名の検討委員の一人として、参画してまいりましたが、九月十八日、フレックステーブルにおいて開催されたタウンミーティングにおいて、七章五十六条の中間報告を終えることができました。

みなさまからの画期的、建設的なご意見を反映させて、最終報告をまとめたいと考えております。さて、今回の自治基本条例について、いくつかの論点を申し述べて議論の糧にしたいと思います。

四つめは、時代の変化、行政の実施状況を勘査して、時代に即した見直しを規定したことです。日本全国に発信できる格調高い条例ひつめは、この基本条例がわが国憲法と同じように、新しい伊賀市の住民自らの憲法の役目を果たす基本条例であることです。住民自治のあり方、まちづくり協議会のあり方、行政のあり方等を定めました。

この「壬生野地域まちづくり計

伊賀市自治基本条例（案）中間報告について



作 澤野 寛太郎さん

アンケートより（その2）

壬生野地域にとどまることがありますのでじっくりとお読みいたいとき、ご理解とご認識をいただきたいと思います。

く、いろいろな地域との交流をみにつし、もつと広い視野でまちづくりを進めていくべき。一部の人たちの取り組みにならず、みんなで作り上げてこそ価値がある。

もみじまつりへ行って



毎年恒例のもみじまつりが今年も十一月三日に山畠地区滝川上流にて開催されます。今年は壬生野地域まちづくり協議会も参加を予定しております。コシヒカリ試食サービス、青空市場（地元の特産品・ヤマギシの野菜）などを計画しています。皆さんお誘いあわせの上、是非遊びに来てください。

■ 伊賀市自治基本条例検討委員会
■ 山本 和生（希望ヶ丘）

アンケートより（その1）

少子化と言いますが、子供を持ついる親としても、もつと子供を育てやすい、産みやすい環境を作つてほしいと思います。公園もないし、ブールもないし、名阪国道が近いため、交通量も多く、一入で自転車で行くようになると配です。合併したら田舎は放つておかれそうで嫌です。上野とかが優先とならないように地域をしつかりしてほしいです。



バラ園に秋のバラが咲きました（事務室のとなり）。十月下旬～十一月上旬が見頃です。是非、お楽しみください。

お問い合わせ先 電話 45-12531

今回の題字
壬生野小学校5年
笑顔がいっぱい
井原 妹子さん

ヤマギシたより

II まちづくり協議会の今 II

拠点設置検討委員会より報告

去る九月二十一日、壬生の里にて当委員会（第一回）の集いが行われました。

住民や地域が主体となり、住民自らが行う住民自治活動を一層推進していくために、拠点施設の必要性があることから、その機能や運営方法について検討がなされました。

最初に、行政より町内三地域の設置場所等の説明があり、施設整備費の見積案の提示もなされました。

【各地域の設置予定場所】

壬生野 王生の里二階会議室
西柘植 旧希望の家
柘 植 歴史資料館二階書庫

又、壬生野地域まちづくり協議会と

しての当面の開設方法については次の検討がされました。

【機能】

- 各種会議及び交流の場
- 情報収集提供機能（ホームページ開設）
- 広報誌の発行
- まちづくり総合窓口
- 行政との連携など

運営については当委員会が来年三月まで管理運営して、その後はセンター運営審議会に引き継ぐことで検討がされました。尚、十一月一日よりの具体的な運営方法は次回（十月十八日）の運営委員会で検討を予定しています。

壬生野地域まちづくり計画編集委員会より報告

九月以降、これまで各部会に分かれて検討を行つてきました「まちづくり計画」を取りまとめ、「壬生野地域まちづくり計画」の中間報告案の作成を行つてきました。現在、この中間報告案をみなさまにご提示するための編集作業が最終段階に入っています。

それとあわせ、この「壬生野地域

まちづくり計画」について、よりみなさまに分かりやすいかたちで見えていただけるよう、計画の概要をまとめた「ダイジェスト版」の作成も行つています。一面でお知らせしたタウンミーティングでのご意見を受け、なるべく早くみなさまにお配りできればと考えています。

伊賀町には南西部の滝川水系と、北東部の朝古川水系の二つの水系があります。水系とは川を中心とした、水の流れの系統のことと言うそうです。現在、滝川水系は約2300戸、朝古川水系では1100戸の家庭に美しい水を運んでくれています。

水は川西の塚脇にある水源から三つの北側にある滝川浄水場に集められ、四つの配水池に送られます。庭にはきれいな鯉もあり、春には桜もきれいでいます。

山畑配水池は山畑・希望ヶ丘、第一配水池は川東・川西・青葉台・西之澤、第二配水池はブリマハム工場、第三配水池は愛田・ゴルフ場へと配水しています。

（川西 信也）

III まちづくり協議会コーナー（第2回）

森田 朝一さん（山畑）

なりました。

その後、高校時代、駅伝のメンバーになり、走ることの楽しさ苦しさ等を味わいながら、会社に入つてからも友と楽しく過ごしました。

又、地域にも走る若者が多くいることを知り、地域で駅伝のチームを作り出場し、良い成績も上げました。



私は小中学生時代は体も弱くませんでしたが、あるとき、高校の全校マラソンで、良い成績ではありますでした。しかし、ゆっくり長く走れることを知り、長距離をやるように

器具で、運動は何もしていませんでしたが、あるとき、高校の全校マラソンで、良い成績ではありますでした。しかし、ゆっくり長く走れる

川西の水 (第2回) フィールドワーク

私たちの住む地球は、その表面の六〇%が海や川におおわれています。そして私たちの体も又、その三分の二は水分でできています。水は生きて行く上で欠かすことのできない大事な「命」なのです。

そんな大切な水を供給している浄水場が川西にあります。それは「滝川浄水場」です。

伊賀町には南西部の滝川水系と、北東部の朝古川水系の二つの水系があります。水系とは川を中心とした、水の流れの系統のことと言ふそうです。現在、滝川水系は約2300戸、朝古川水系では1100戸の家庭に美しい水を運んでくれています。

水は川西の塚脇にある水源から三つの北側にある滝川浄水場に集められ、四つの配水池に送られます。庭にはきれいな鯉もあり、春には桜もきれいでいます。

あとがき

今回、広報の編集を一部手伝わせてもらいました。殆ど時間がない中での作業でしたが、いろんな方が書いてくださった原稿をひとつまとめる作業は楽しいものでした。今後もよりよい広報となるよう、少しでもお役に立てればと思います。

（増田裕）

〈募集コーナー〉

まちづくり協議会ではみなさまからのご意見・ご提案・ご要望を募集しています。是非、たくさんの方のご意見等をお聞かせください。（ご意見等は下記の連絡先か、メールまで）

◆壬生野地域自治推進グループ事務局◆

E-mail: mibuno@town.iga.mie.jp
携帯: mibuno_320@docomo.ne.jp

◆各地区の代表◆

北村武久（山畑）	45-2931	澤野憲太郎（川東）	45-3326
福西信也（川西）	45-2775	高橋久男（西之澤）	45-2496
舩忠義（希望ヶ丘）	45-2656	谷口靖（青葉台）	45-7231
斎田勇（春日丘）	45-4583	北大路順信（山岸会）	45-2531

ノルマラソンです。ゴール後、190センチくらいの諸外国の人々と抱き合って喜んだことが忘れられません。

今、還暦マラソンは無事完走しましたが、一歩一歩積み重ね、7年後の古希マラソンを完走したいと思っています。その先も元気で喜寿までもと人生を楽しく走つて行きたいと欲張っています。

先日まちづくりのフィールドワークに参加しました。今後も地域のために何かできることがあれば声をかけていただければと思います。